

図書館だより



姫路高校図書館
2021年6月3日

夏の風物詩

今年も「読書感想文」の季節がやってきました。

第67回青少年読書感想文全国コンクールの課題図書（高等学校の部）3作品各2冊が入っています。新着本コーナーにあります。1、2年生の皆さん、今から準備しましょう！



左から 水を縫う（集英社） 著者：寺地 はるな

刺繍が好きな高校生の清澄が、かわいいものが苦手な姉の水青のため、ウエディングドレスを手作りすると宣言して――。清々しい家族小説。

兄の名は、ジェシカ（あすなろ書房） 著者：ジョン・ボイン 訳者：原田 勝

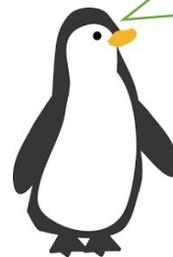
ぼくのヒーローは4歳上の兄だ。その兄が告白した。自分は「トランスジェンダー」だと！LGBTの若者の思いをさわやかに描いた物語。

科学者になりたい君へ（河出書房新社） 著者：佐藤 勝彦

宇宙の果て、生命の謎、コンピュータ…サイエンスに関心を抱き、研究職を目指す人へ、日本の科学研究を牽引した著者がその扉を開く。

【「課題読書」と「自由読書」】

読書感想文コンクールの主催者が指定した本（課題図書。上記の3冊です）を読んで書くのが「課題読書」、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。



【感想文は、何のために書くの？】

書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」ともいわれます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

【なぜ本を読むことが大切なのかな？】

一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり、恋をしたり、冒険をしたり――。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

【何をどう書けばよいか、全くわかりません】

本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのか、自分が一番言いたいことは何なのかははっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずですよ。

上記は、読書感想文全国コンクール公式サイト 感想文Q&A より。
さまざまな疑問に答えてくれますよ。

ご協力ありがとうございました

さきに実施した図書館購入希望図書アンケートでは、生徒の皆さんより多数の購入希望がありました。たくさんの回答をありがとうございます。

すべての要望に添えるわけではありませんが選書し、夏休み前の特別貸出期間に間に合うようにしたいと思います。選書結果と入荷状況は図書館内に掲示します。



本から広がる世界

図書委員長の田上です。

一冊の本をきっかけに世界が広がったという経験はありませんか。そんな本を紹介していこうと思います。

第一回目は、「夢を掘りあてた人」です。

この本は、ギリシア神話に登場する都市トロイアを発掘したドイツ人のハインリヒ・シュリーマンの伝記です。

古代の遺跡を発掘するシュリーマンの情熱が描かれているのですが、僕が気になったのは、シュリーマンの語学力です。彼は十数ヵ国語を習得しています。最短2週間で1つの言語をマスターしているのです。凄いです！凄すぎる！なんと素晴らしい能力！

シュリーマンに出来て僕に出来ないはずはない！と、英語以外にも言語を学んでみたくないました。さっそくラジオ講座を聴いてみよう！

一冊の本から世界が広がる、面白いですね。

今回紹介した本

「夢を掘りあてた人—トロイアを発掘したシュリーマン」

インゲ・フォン・ヴィーゼ作 大塚勇三訳 岩波書店

他にもこんな本あります！

「古代への情熱—シュリーマン自伝」

「ホメーロスのオデュッセイア物語」

「ホメーロスのイーリアス物語」

◎ 図書館蔵書数 19,563冊(2021年6月1日現在)

2021年5月17日現在比増 106冊

2016年度以前の蔵書で、コンピュータ処理されていない蔵書は含んでいません。



こんな本があるよ



全国の書店員が選んだ いちばん売りたい本 本屋大賞 受賞作の紹介です。

年	著者	書名	あらすじ
順位	出版社		
2021 大賞	町田 そのこ 中央公論新社	52ヘルツのクジラたち	孤独ゆえ愛を欲し、裏切られてきた彼らが出会い、新たな魂の物語が生まれる—。
2021 2位	青山 美智子 ポプラ社	お探し物は図書室まで	自分が本当に「探している物」に気がつき、明日への活力が満ちていくハートウォーミング小説
2021 4位	伊坂 幸太郎 集英社	逆ソクラテス	逆境にもめげず簡単ではない現実に立ち向かい非日常的な出来事に巻き込まれながらもアンハッピーな展開を乗り越え僕たちは逆転する！
2021 9位	宇佐美 りん 河出書房新社	推し、燃ゆ	推しが炎上した。ままならない人生を引きずり、祈るように推しを推す。そんなある日、推しがファンを殴った。第164回芥川龍之介賞受賞。
2021 10位	深緑 野分 KADOKAWA	この本を盗む者は	泥棒を捕まえない限り元に戻らないと知った深冬は、様々な本の世界を冒険していく。やがて彼女自身にも変化が訪れて—。
2020 大賞	凧 良 ゆ う 東京創元社	流浪の月	再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人間を巻き込みながら疾走を始める。
2019 大賞	瀬尾 まいこ 文藝春秋	そして、バトンは渡された	大人の都合で何度も親が替わり、今は二十歳差の—父。と暮らす優子。家族皆から愛情を注がれた彼女が伴侶を持つとき。心温まる物語。
2018 大賞	辻村 深月 ポプラ社	かがみの孤城	すべてが明らかになるとき、驚きとともに大きな感動に包まれる。生きづらさを感じているすべての人に贈る物語。
2017 大賞	恩田 陸 幻冬舎	蜜蜂と遠雷	私はまだ、音楽の神様に愛されているだろうか？ピアノ/コンクールを舞台に、人間の才能と運命、そして音楽を描き切った青春群像小説。
2016 大賞	宮下 奈都 文藝春秋	羊と鋼の森	ピアノの調律に魅せられた一人の青年。彼が調律師として、人として成長する姿を温かく静謐な筆致で綴った、祝福に満ちた長編小説。

※すべて分類番号913(日本・小説)。 特設コーナーにあります。